

正 本

令和3年 第7回 吉川市教育委員会会議録

令和3年7月30日（金）

令和3年7月30日 第7回 吉川市教育委員会

吉川市教育委員会告示第8号

令和3年第7回吉川市教育委員会会議を次のとおり招集する。

令和3年7月27日

吉川市教育委員会教育長 戸張利恵

日 時 令和3年7月30日（金）午後3時から

場 所 市役所202会議室

付議案件

- (1) 会議録の承認について
- (2) 通学区域の調整及び中学校の選択による学校選択希望者の受入可能人数等の決定について
- (3) 令和4年度使用中学校教科用図書採択に関する意見聴取について
- (4) その他

開会の日時	令和3年7月30日 午後3時00分
閉会の日時	令和3年7月30日 午後3時44分
会議開催の場所	市役所202会議室
教育長	戸張 利恵
教育長職務代理者	中島 新太郎
<p>会議に出席した委員の氏名</p> <p>席順 1 戸張 利恵</p> <p>2 中島 新太郎</p> <p>3 小林 照男</p> <p>4 鈴木 真理</p> <p>5 荒井 一美</p>	
<p>会議に欠席した委員の氏名</p>	
<p>説明のため会議に出席した者の職・氏名</p> <p>教育部長 中村 詠子</p> <p>副部長兼学校教育課長 馬場 重弘</p> <p>教育総務課長 石田 和親</p> <p>生涯学習課長 岩上 勉</p> <p>学校教育課学校支援担当主幹 兼少年センター所長 砂賀 正史</p>	
<p>会議に出席した事務局職員</p> <p>書記長（教育部長） 中村 詠子</p> <p>書記（教育総務課 管理担当主査） 関根 奈津枝</p>	
<p>傍聴人 1人</p>	

令和3年第7回吉川市教育委員会会議 議事日程

日 程	議案等番号	内 容	提出者
日程第1	—	開会の宣告 会議録の承認について	教育長 〃
日程第2	第27号議案	通学区域の調整及び中学校の選択による学校選択希望者の受入可能人数等の決定について	〃
日程第3	第28号議案	令和4年度使用中学校教科用図書採択に関する意見聴取について	〃
日程第4	—	その他 閉会の宣告	〃 〃

会議の要点記録

◎開会の宣告（午後3時00分）

○戸張教育長 ただいまから令和3年第7回吉川市教育委員会会議を開会いたします。

◎日程第1、会議録の承認について

○戸張教育長 （議題の宣告）

○戸張教育長 （採決の宣告・採決）

採決の結果、会議録を承認することについて異議はなく、前回会議録は承認することに決定した。

◎日程第2、第27号議案「通学区域の調整及び中学校の選択による学校選択希望者の受入可能人数等の決定について」

○戸張教育長 （議題の宣告及び報告を求める発言）

○中村教育部長 第27号議案「通学区域の調整及び中学校の選択による学校選択希望者の受入可能人数等の決定について」ご説明いたします。

本案は、令和4年度に就学を予定している、小学校新1年生に係る調整選択及び、中学校新1年生に係る学校選択について、保護者からの申請受付期間、各小中学校の受入れ可能人数について事務局案を提出するものでございます。

なお、受入れ可能人数などの詳細につきましては、担当課長より説明いたしますので、よろしくお願ひします

○馬場副部長兼学校教育課長 第27号議案通学区域の調整及び中学校の選択による学校選択希望者の受入れ可能人数等の決定について詳細をご説明いたします。

本案につきましては、令和4年度小学校就学予定者の通学区域の調整及び中学校進学予定者の中学校の選択に係る学校選択の申請受付について、吉川市立小学校及び中学校の就学に関する規則の規定により、学校選択希望者の各小中学校における受入れ可能な人数と、申請書の提出期限を定める必要があるため提案するものでございます。

受入れ可能な人数につきましては、各小中学校の普通教室の数など施設の状況と通学区域内就学予定児童生徒数及び転入等の異動による児童生徒数を考慮の上、受入児童生徒数を見込んでおります。

「1 令和4年度学校選択受入可能人数見込み数(案)」をご覧ください。まず小学校では、吉川小学校、関小学校、北谷小学校、中曽根小学校の4校につきましては、「1学級増までの人数」といたしました。また、旭小学校、三輪野江小学校、栄小学校の3校につきまし

ては、「1学級増とならない人数」とし、なお、美南小学校につきましては、昨年同様に、受け入れを行わないこととしました。

つづきまして、中学校でございますが、東中学校、南中学校、中央中学校につきましては「1学級増までの人数」といたしました。また、吉川中学校の受入れにつきましては、中学校選択校の対象から外すものでございます。

また、申請書の提出期限につきましては、事務処理などに要する時間や入学通知書発送時期などを考慮し、設定させていただきました。

抽選の実施についてでございますが、小学校の調整選択制度では、過去の実績などから抽選に至ることはないと考えておりますが、保護者宛ての案内におきまして、9月25日の土曜日を公開抽選の開催日として告知しております。

中学校の学校選択制につきましては、保護者宛ての案内におきまして、11月20日の土曜日を公開抽選の開催日として告知しております。

どちらも会場は、市役所2階の会議室を予定しております。

以上が、本議案についての説明となります。ご審議のほど、よろしく願いいたします。

**○戸張教育長**（質疑及び意見を許可する発言）

**○中島教育長職務代理者** ひとつ質問ですが、学校選択受入可能数の旭小と三輪野江小区域内就学見込数の児童数ですが、旭小が24、三輪野江小が20 学区堺の子どもたちの移動を認めるという形で少し増員になるということですが、ほかの学校に比べて旭小と三輪野江小に入学する児童が非常に少ない。今後、旭小と三輪野江小の児童数はどんな推移になっているのか。非常に心配される状況が考えられるが、今後旭小と三輪野江小の児童数の推移がどんな状況なのか、わかるところを教えてくださいたいと思います。

**○馬場副部長兼学校教育課長** 旭小、三輪野江小の児童数につきましては、あくまでも現在の段階では住民基本台帳における見込み調査ということになってきますが、入学の児童につきましては、旭小学校につきましては、令和5年度までは20人台前半をキープできるかと考えておりますが、令和6年、7年につきましては、10人台の前半になってくるという見込みになっております。

三輪野江小学校におきましては、令和6年までは20人台後半の推移で令和7年度におきましては、20人台の前半になってくる見込みになっております。現在のところ総児童数で考えていった時、旭小学校では151人となっておりますが、令和7年頃になりますとほぼ100人台の人数になってきます。三輪野江小におきましても、現在は201人の児

童数となっておりますが、同じく令和7年くらいになりますと、150人位になるという見込みになっています。以上です。

○中島教育長職務代理者 年々児童数が減ってきているという状況で、一方で美南小学校のように1000人を超える学校があるということで、旭小学校が100人位、三輪野江小学校が将来的に150人位ということで児童数が減ってきているという状況で、学習状況も心配なこともあると思いますが、人数の対応については何か考えていることはあるのでしょうか

○馬場副部長兼学校教育課長 学級数で考えると子どもの数は減りますが、クラスの数が減ることはこれ以上ないと判断しております。1年生から6年生まで単学級ですので、それで教員が6名、それと特別支援学級が2学級という形になってくると、そのままですので、おそらく教員の数についてはそのまま進めていけると考えていったときに、今以上によりきめ細やかに見ることができる部分があるかと捉えています。ただ、互いに競い合ったり、切磋琢磨したりする部分におきましては、やはり今後の課題となってくるところがありますので、この2校につきましては小規模の特色をいかしながらも、いかに課題対して的確に対応できるかというところについては、教育委員会としても状況を見ながら検討を進めてまいりたいと考えております。

○中島教育長職務代理者 メリットとして、きめ細かい授業ができるというのは非常にいい点だと思います。ただ逆のことを考えると、一クラスですと人間関係がそこで決まってしまうと、流動的な形はできないと、次の年も同じクラスということでは、子どもによっては辛い子どもも出てくるのではないかと思います。そういう点も配慮していただいて、デメリットということを考えながらぜひまた旭小、三輪野江小がいい方法で子どもたちが学習できるような教育を進めていっていただければありがたいと思います。

○荒井委員 今の旭小と三輪野江小のことですけど、この人数を見ただけでも、これは吉川市の課題の一つではないかと思います。市の行政の方策として、今後何か対策は考えていらっしゃるのでしょうか。

○馬場副部長兼学校教育課長 今の段階で明確にこれを進めていきますと伝えられるものはないと捉えています。ただ、今現在スタートしておりますが、今年度から吉川中でスタートして、各学校においてコミュニティスクールに合わせて進んでいる小中一貫教育の中では、そうした小規模校において一番話題になってきているのは、各学校の行事の実施などについては工夫を加えていこうという話が出ているのは事実でございます。例えば、遠足などについても、単一校で行くのではなく、旭小、三輪野江小の両方で行ってみて、中でそれぞれの学校での活動をするというのもひとつの方法ではないかと、学校間では検討

を進めているところでございます。市としてこの状況に対してこれをやりますと明言できる対策については、今現在持ち合わせていないのが現状です。

○荒井委員 旭小、三輪野江小の地域は調整区域で、美南のように外部から入ってくるできない状況というのは、今後も続くということですよ。

6年、7年前から何かできないかと提案をされていましたが、なかなか実行に移せないのが現状です。何かいい方法があつて、小規模校でも子どもたちが切磋琢磨し、そして、コミュニケーション能力を高め、課題を解決できるような教育が出来ればいいなと思います。例えばこの二つの学校は東中学校に進学しますが、その時に、結構三輪野江小の子が不登校になっているという話も聞いたんですね。ずっとひとクラスでいくので、なかなかその刺激に耐えられないとか、学校が遠くて自転車で行けないとか、いろんな状況があるようですけれども、ここで巣立った子供たちは本当に気持ちのいい子どもたちで、旭小と三輪野江小は素晴らしい学校だと思いますので、世の中に出た時に、旭小、三輪野江小で良かった、こんな素晴らしい人に育ったんだと言えるような教育が欲しいなと思います。よろしくをお願いします。

○中島教育長職務代理者 意見を言わせてください。旭小、三輪野江小がやはり将来的にも児童数が少ないということで、一つの考えとして、春日部で小中一貫校として、規模の小さい小学校と規模の小さい中学校で一緒の学校でひとつの学校として学習を学んでいるという形態もあります。そのようないろんな資料を取り寄せて、この子供たちにとってはこういう方法がいいのではないかとというものが見つけられたら、ぜひ参考にしてもらえたらありがたいと思います。

○小林委員 人口減少の問題とか偏りの問題については避けて通れない状況なので、中島先生がおっしゃったとおり、形を変えるとか小規模特例校の検討を始めるとか、そういったことについては地域の賛成をいただかないと、小学校については卒業生の方がほとんどですから、卒業生の方々のおそらく強い意見が出てきてなかなか難しい問題になると想定されるので、検討会議的なものを別枠で進めていくとか、10年後を目指して検討会を進めるなりなことをそろそろ始めるということの検討を始める時期に来ているのかなと思いますので、そういったことを始めるということについてご検討をいただければという意見です。

○戸張教育長 (採決の宣告・採決)

ご異議なしと認めます。したがって、第27号議案は、原案のとおり可決されました。



◎日程第3、第28議案「令和4年度使用中学校教科用図書の採択に関する意見聴取について」

○戸張教育長 （議題の宣告及び説明を求める発言）

○中村教育部長 第28号議案「令和4年度使用 中学校教科用図書の採択に関する意見聴取について」ご説明いたします。

教科用図書の採択につきましては、『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律』第13条第4項に定められておりますが、今年度あらたに文部科学省の検定に合格した教科書があり、あらためて採択を行うことになりました。教科は社会科の中の歴史的分野となります。

8月6日に教科用図書採択協議会が開催され、社会科・歴史的分野の令和4年度使用中学校教科用図書が選定されます。本議案は、この協議会に吉川市教育委員会としての意見を報告するため、提案するものでございます。以上、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○戸張教育長 それでは、教科書採択につきまして、各委員のご意見を伺います。歴史の教科書は多くの教科書がございますので、その中で特に推薦するものを教えていただければと思います。

○中島教育長職務代理者 昨年度採択した「東京書籍」について、何か学校から意見はございましたか？

○事務局 事務局より申し上げます。学校からは批判的な意見はいただいておりません。私が学校で授業を参観した際には、一人一台端末を活用し、東京書籍の教科書にある「Dマーク」を活用した授業を実践しておりました。今後も活用が可能だと思います。

○中島教育長職務代理者 ありがとうございます。そういたしますと、私は東京書籍を推薦します。ICTの活用が期待できるのであれば、東京書籍を継続すべきだと思います。

○荒井委員 私も東京書籍を推薦します。やはり他の教科書に比べて教科書の流れが課題学習・問題解決型学習にあっている点がとてもいいからです。教科書も見やすく、学習課題も明確で、わかりやすいという点で東京書籍を推薦いたします。

○鈴木委員 私も東京書籍を推薦します。昨年度も申し上げましたが、私は保護者の立場として、ICTの活用は大変重要だと思っています。Dマークを用いたクイズがついてあるのは東京書籍だけであり、保護者も一緒に楽しめることを私は重要視しています。

○小林委員 私も東京書籍を推薦いたします。昨年度のこの会議の場で教育長が小学校は東京書籍を使用していて、小学校との系統性という観点から東京書籍を推薦するとの話をされておりました。吉川市の小中一貫教育の流れを鑑みても、私も東京書籍がよろしいか

と思います。

○戸張教育長 ご意見ありがとうございます。教育委員の皆様のご意見は東京書籍が多くございました。私も昨年度に引き続き、東京書籍でよろしいかと思いますが、皆様よろしいでしょうか。

それでは、吉川市教育委員会として、歴史的分野については東京書籍を推薦いたします。

以上で、令和4年度使用中学校教科用図書採択に関する意見聴取を終わります。

ただいま、委員の皆様から頂戴いたしましたご意見を踏まえまして、8月6日に開催されます、第25採択地区教科用図書採択協議会に出席することとなりますので、ご了承願います。採択協議会での協議結果につきまして、8月に予定しております第8回教育委員会で議案として提案し、承認を求めることとなりますので合わせてよろしくお願い申し上げます。なお、採択協議会は吉川市、三郷市、八潮市の3市の代表者による協議会でございますので、協議結果につきましては吉川市の意見を異なる場合もございます。予めご承知おきください。よろしくお願いいたします。

#### ◎日程第4、その他

○戸張教育長（事務局からその他報告等がないかの発言）

○中村教育部長 6月議会の報告につきまして、一般質問の答弁内容につきましては、お手元に資料を配布させていただいた通りでございます。インターネットで議会中継の録画されたものがご覧いただけますので、お時間があればご覧いただければと思います。

○岩上生涯学習課長 成人式の日程についてご報告いたします。6月30日に新成人による第1回成人式実行委員会が開催され、日程が決定いたしました。

日程は令和4年1月9日日曜日、場所は総合体育館、昨年同様に中学校区ごとに分けて開催させていただくというところまで決定しておりますので、報告させていただきます。

○中村教育部長 次回の教育委員会会議の開催についてですが、8月27日金曜日、午後3時から、場所は市役所202会議室の予定となっております。ただ、本日県からの発表があり、緊急事態宣言が発令される関係がございます。県教育委員会からの資料によりますと、基本的に、様々な会議、イベント等については、感染対策をしっかりと行うことということで、中止しなければならないということではない状況です。本日この後、市のコロナ対策会議が開催する予定ですので、その中で市全体として様々な行事等の方向性を決めていくこととなりますので、もしかすると、書面開催ということもあるかもしれません。改めてご連絡をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

また、教育委員会が開催される場合は、旭小学校のオンライン学校訪問を行う予定となっ

ております。

次に、今後の教育委員会会議の日程についてですが、9月の会議日程は9月24日金曜日を予定しておりましたが、市議会定例会の会期日程と重なってしまったため、9月28日火曜日に変更させていただきます。なお、危機管理研修ということで、昨年度、校長先生を集めて研修会を行いました。今年度は教頭先生方の危機管理研修を行っているところです。校長先生に対しては、専門家による講義形式の研修会をやろうと考えています。その研修会を9月28日に開催する予定で、可能であれば教育委員の皆様にもぜひご参加いただければと思っています。詳細につきましては、決まりましたらご報告させていただきますので、ご参加いただければと思います。

○戸張教育長 委員の皆様より、ご報告等がありますか。

○中島教育長職務代理者 質問をさせていただきます。6月28日に千葉県八街市で飲酒運転による子どもの死亡事故が発生いたしました。市内でもそれを受けて、通学路の安全点検をされたと思います。それぞれの学校でどのような状況になっているのかわかる範囲で教えていただければと思います。

○馬場副部長兼学校教育課長 通学路の安全点検についてですが、今年度は5年に1度行っている文部科学省から出されている点検の年です。本市としましては、文科省から書類が来なくても毎年点検を行っていますが、点検を実施するという文書を発出した後にこの事故が起こったような状況です。この事故が発生したことによって、書類の提出期日が早まり、本日までに書類の提出が進められているところで、各学校で安全点検を終わらせて、報告をいただいているところがございます。まだ全てのデータを見ていないので、把握できない部分もありますが、様々な意見を吸い上げながら具体的に写真等も入れていただいて、危険箇所を洗い出して報告をいただいているところがございます。

○中島教育長職務代理者 市内でも例えばトラックが多く走っているところを子どもたちが通学しているところがあるのではと思いますが、それについて学校や保護者からここは危険ではないかというような意見は教育委員会にはありませんか。

○馬場副部長兼学校教育課長 そのような意見よりも、どちらかというと信号機の設置についての意見をうかがうことの方がやや多いかなと考えています。こちらについては当課だけでは対応できないところであるかなと認識しております。

あともう一つ非常に気にしているのが、吉川橋が完成に近づき、全て2車線で通行することになった時に、橋が広くスピードが出やすい状況で交番のあたり向かって行くということで、今後危険性が出てくるのではないかと、状況を注視しているところがございます。

○中島教育長職務代理者 吉川橋が3月に全面開通すると吉川橋から中央中のところまで一直線で車が走る状況になります。そうすると相当スピードを出す車も増えるでしょうし、子どもの通学にとっては危険な場所のひとつになるだろうと思います。また、旭小地区と三輪野江小地区は子どもの通学の時に、子どもの側を車が通るところがあるのかどうか、私も詳しくわかりませんが、どうですか。

○馬場副部長兼学校教育課長 旭小地区に関して言いますと、狭い道路のところがありますので、車が子どもの近くを通る所もあります。歩道が整備されていますが、一部歩道が途切れるところがあります。もちろん、交通量がすごく激しいというところではないのですが、以前よりも交通量が増えてきているというところはあるかと思えます。

三輪野江小地区においても、歩道と車道が分かれていない地域はありますので、一部危険なところはあるかと、注意して通らなければいけないところがあると思えます。

ただ、旭小等については、地域の方の見守りとか地域の方の支援等により、登校時の危険箇所については、かなり大人の目によって対応できているのかなと捉えています。

○中島教育長職務代理者 今回の事故のように、飲酒運転する者がいるかもしれない。細かくよく見て、子どもにとって安全がどうか、もう一度詳細に安全点検してもらえたらありがたいと思います。

◎閉会の宣告（午後3時44分）

○戸張教育長 以上で本日の議事日程は、すべて終了しました。これで、令和3年第7回吉川市教育委員会会議を閉会といたします。閉会にあたりまして、中島教育長職務代理者よりごあいさつをお願いします。

○中島教育長職務代理者 皆さん大変お疲れさまでした。オンライン学校訪問が先月は吉川中学校、今月は関小学校と、2校学校訪問が出来たことは大変良かったと思います。今日は動画で子どもの様子を少し見る事が出来ました。子どもの様子を見てると学校の雰囲気が分かって、とっても良かったような気がします。私も退職して13年経ちますが、今思うと学校に勤務していた頃は子どもたちから元気をもらったなという思いが非常に強くあります。今はコロナの状況で学校訪問をすることはできないですが、またいつか子どもたちの元気な姿を見て、元気な力をもらえたらいいなということを楽しみにしたいと思います。本日はお疲れ様でした。

令和3年7月30日 第7回 吉川市教育委員会

吉川市教育委員会会議規則第24条第2項の規定により署名する。

令和3年7月30日

教 育 長                    戸張 利恵

教育長職務代理            中島 新太郎

委                    員                    小林 照男

委                    員                    鈴木 真理

委                    員                    荒井 一美

付議された議案等の処理結果

令和3年第7回吉川市教育委員会会議

議案等番号	件名	議決結果
第27号議案	通学区域の調整及び中学校の選択による学校選択希望者の受入可能人数等の決定について	可決
第28号議案	令和4年度使用中学校教科用図書採択に関する意見聴取について	可決